

いじめ防止対策マニュアル

(いじめの防止等のための基本的な方針)

「予防」 個と集団の観察…日常的に！

「報告」 事実の確認…正確に！

「連絡」 一秒でも早く…プロの手に！

「対処」 組織的対応…情報の共有化を！

生徒指導心得

◎是々非々で

「すずめの学校」と「めだかの学校」とのバランスを！

- ・ 誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。
- ・ 徹底して「かまって」あげます。
- ・ いざという時、全員で動きます。
- ・ 1秒でも早く、プロの手に渡します。

平成30年5月改訂

熊谷立妻沼小学校

1 普段の教職員の生徒指導

(1) 誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。(専門職としての誇り)

教師は教えるプロであり「素人にもわかる授業」しかし、「素人にもできる授業」ではいけない。広辞苑の「教育」の定義には、「人間に他から意図をもって働きかけ、望ましい姿に変化させ・・・」とある。どんなに一生懸命働きかけても、教えても、活動させても、児童生徒が望ましい姿に変化しなければ「教育」とは言えない。「わからない」という姿から「わかる」という望ましい姿に、「できない」という姿から「できる」という望ましい姿に変化させてはじめて、教育が成り立つということである。児童生徒に、確かな学力をつけて、はじめてプロ、専門職と言われるのである。

(2) 徹底して「かまって」あげます。(健全育成の基本)

「かまう」(構う)という言葉を広辞苑でひくと、「係わる・関係する・世話をやく・もてなす・気をつかう」とある。マザーテレサの言葉に「愛の反対は、憎しみではなく、無関心である」という言葉がある。存在感や立場を全否定してしまう「無関心」であってはいけない。まだ、憎んでいるうちはそれなりに関心があるということである。生徒指導で一番大切なことは、「かまってあげる」ことである。

(3) いざという時、全員で動きます。(組織への信頼)

例えば、いじめが発見されたらまず「緊急職員会議」を行うことが何よりも重要である。授業中であろうと給食中であろうと、緊急に開くことに意味がある。まず全教職員が知ることが大切であると同時に、子どもたちに「何が起きたのだろうか？」と緊急事態発生を知らせることで、被害の子どもはもちろん、加害の子どもやその周辺にいた子供、ひいては保護者たちにも、その結果「何か起きたら、大事な授業も中止して全員で緊急事態に対応してくれる」という安心感を与えることになる。細かな事実を確認するのは、その後でもできる。けがをしたらまず応急処置として、止血することと同じである。しかし、いじめはそのけがの大きさは見えにくい。「何かあったら、先生方がすぐ動いてくれる」と言う安心感を与えることで、先生や学校、学校という組織への信頼感が高まり、子供も保護者も相談しやすい場となる。しかし、はじめの対応でボタンを掛け違えると、解決に時間もかかり、信頼とは反対の不信感をもたれてしまう。学校は、子供からの訴えや保護者からの相談には、誠意をもって真摯に対応することが何よりも重要である。

(4) 一秒でも早くプロの手へ渡します。(関係機関との連携)

学校は、ある意味、社会と同じようになっていなければならない。「学校は社会の縮図、社会で許されないことは学校でも許されない」ということを子供や保護者に伝えておかなければならない。これでもか、これでもか、とかまってあげる。しかし、これが学校の範疇や限界を超えた行為に当たるようなときは、迷わずプロに任せる。逃げではなく、子供のことを考え、「子供たちにとって何がベターなのか」を判断基準に決断した結果、この道のプロである警察等に任せるのである。

2 いじめの防止等の対策に関する基本的な考え方

【いじめ防止対策推進法 総則 いじめの定義(H25.6)】

- ① 一定の人的関係にある者から
- ② 心理的・物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)を受け
- ③ 心身の苦痛を感じている

「いじめ」を「児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義すること。

(1) いじめの内容

具体的ないじめの態様は、以下のようなものがある。

- ・ 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる
- ・ 仲間はずれ、集団による無視をされる
- ・ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
- ・ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- ・ 金品をたかられる
- ・ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- ・ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ・ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる 等

これらの「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することや児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察通報することが必要なものが含まれる。

(2) いじめの定義

**本人がいじめられているといったら
いじめ**

(3) いじめに関する基本認識

「いじめられているほうにも問題がある」といってはいけない。

「いじめられている子」の心のケアを行う。

問題を解決するために「いじめて」いいことはない。

「いじている子」には、なにか課題がある。

「傍観している人もいじめの仲間」 → いじめのない学校をつくる。

いじめ以外の方法で問題解決をする。

「児童・生徒のサインチェックリスト、教師の手だて」

場面	児童・生徒のサイン	
登校時から始業前	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① いつも一人で登校する。友だちと登校しても表情が暗い。 <input type="checkbox"/> ② 登校時間が一定していない。(早く登校したり、遅く登校したりしている) <input type="checkbox"/> ③ 自分からあいさつをしない。友だちからのあいさつや言葉掛けがない。 <input type="checkbox"/> ④ あいさつや声掛けをしても、はっきりとした返事が返ってこない。 <input type="checkbox"/> ⑤ 元気がなく、顔色がすぐれない。 <input type="checkbox"/> ⑥ はっきりとした理由もないのに欠席することがよくある。 <input type="checkbox"/> ⑦ 声に出し、心を込めた呼名をしても、元気がない返事をしたり、返事をしなかったりすることがある。 <input type="checkbox"/> ⑧ 健康観察の時、頭痛、腹痛、吐き気をよく訴える。 <input type="checkbox"/> ⑨ 宿題や朝の読書(課題)をほとんどやっていない。また、提出物が出せない。 <input type="checkbox"/> ⑩ 授業の準備をせず、ぼんやりしたり、そわそわしたりしている。 	
<p>【教師の手だて】</p> <p style="text-align: center;">“はじめが肝心 ようこそ〇〇学校へ”</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 児童・生徒の登校のようすを把握し、それに応じた温かい対応をする。 <input type="checkbox"/> ② 教師から『おはよう』の声掛けをし、今日の児童・生徒の心理状態を把握する。 <input type="checkbox"/> ③ 朝の読書や提出物の出来具合を把握し、賞賛や励ましを行う。 <input type="checkbox"/> ④ 声に出し、心を込めた呼名による健康観察を行い、一人一人を視診するとともに、気になる児童・生徒への声掛けを行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 朝の会では、今日一日の予定をきちんと説明し、目的を持った生活をしようとする意欲を持たせる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 朝の会等で欠席者の理由を上手に伝え、教師の温かい思いやりが学級や欠席者に伝わるように工夫をする。 <input type="checkbox"/> ⑦ 遅刻してくる児童・生徒の理由や原因を追及する前に、学級全員で温かく向かえる雰囲気をつくる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 今日の学習に対する意欲付けをする。 <input type="checkbox"/> ⑨ 朝の出勤時に職員同士で明るく元気にあいさつを交わす。(教師の行動が児童・生徒に伝わる) 		
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ おはよう。 ・ 返事が大きくて気持ちいいね。 ・ 挨拶がとても気持ちいいね。 ・ ありがとう。 ・ 頑張っているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体調はどう？ ・ 今日はこんなことができるといいね。 ・ 聞く姿勢が立派になったね。 ・ 昨日こんなことがあったよ。

場面	児童・生徒のサイン	
授業時間	<input type="checkbox"/> ① 宿題や課題、提出物等の忘れ物が多くなってきている。 <input type="checkbox"/> ② 教室に入れず、保健室やほほえみ相談室、職員室等に来て時間を過ごす。 <input type="checkbox"/> ③ 授業が始まってから、一人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> ④ 授業が始まっているのに机上に学用品が散乱している。 <input type="checkbox"/> ⑤ 教科書やノートなどに落書きされるなどして、汚されている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 体の不調を訴え、たびたび保健室やトイレに行く。 <input type="checkbox"/> ⑦ おどおどして発言をためらったり、うつむいたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 特定の児童・生徒の発表や間違いの時だけ、やじがとばされたり笑われたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑨ 特定の児童・生徒を誉めると、周りの児童・生徒があざ笑ったり、しらけたりする。 <input type="checkbox"/> ⑩ 特定の児童・生徒が学習内容と全く関係ないことを発言し(させられ)みんなの笑いものになっている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 二人組を作ったり、グループを作ったりして学習するとき、特定の児童・生徒が取り残される。 <input type="checkbox"/> ⑫ 係決めなどをするとき、特定の児童・生徒が入った係には、ほかの児童・生徒は入ろうとしない。 <input type="checkbox"/> ⑬ 学習意欲がなく、学習内容が理解できなくなる。 <input type="checkbox"/> ⑭ これといった明確な理由がないのに、学習成績が急激に下がる。	
<p>【教師の手だて】</p> <p>“素人にわかる授業、そして、素人にできない授業を行う”</p> <input type="checkbox"/> ① 笑顔で入室するなど、児童・生徒との出会いの時の態度に配慮する。 <input type="checkbox"/> ② 否定的な言葉や態度で授業を始めない。 <input type="checkbox"/> ③ 学習態度や準備ができていない児童・生徒に対しては、その原因を探り、援助・指導をしていく。 <input type="checkbox"/> ④ 教師の思惑とは違う考えや生徒のつぶやきを大切にされた授業を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 児童・生徒が安心して発言できる学習の雰囲気をつくる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 学習が遅れがちな児童・生徒が、活躍できる場面を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑦ 学習が遅れがちな生徒やつまずいている児童・生徒に個別指導を行う。 <input type="checkbox"/> ⑧ 児童・生徒の多様な考えが発揮できる場を意図的に設ける。 <input type="checkbox"/> ⑨ 授業のまとめの段階では、児童・生徒の理解度を把握するように努める。		
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日も頑張ろう。 ・ よいところに気づいたね。 ・ 聞く姿勢が立派になったね。 ・ その考え方いいね。 ・ ここがよかったね。 ・ 返事が大きくて気持ちいいね。 ・ 挨拶がとても気持ちいいね。 ・ すばらしいね。 ・ なるほど。 ・ こんなふうに考えたらどうかなあ。 	

場面	児童・生徒のサイン
休み時間	<input type="checkbox"/> ① これまで仲の良かったグループから外されている。 <input type="checkbox"/> ② どのグループにも入れず、一人でぼつんとしている。 <input type="checkbox"/> ③ 自分から友だちに声掛けすることなく、誘われるままに元気なくついていく。 <input type="checkbox"/> ④ 保健室やほほえみ相談室に出入りすることが多くなっている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 用事もないのに職員室付近をうろうろしている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 教師に寄ってきたり、隠れるようにして話したりする。 <input type="checkbox"/> ⑦ 遊びの中で笑いものにされたり、からかわれたり、命令されたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 一緒に遊んでいるように見えても、表情がさえず、おどおどした様子が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 一緒に遊んでいる友だちに異常な気遣いをしている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 遊びの中でいつもいやな役をさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑪ プロレス遊びや〇〇ごっこのようなことに無理やり加えられている。 <input type="checkbox"/> ⑫ トイレ等に閉じこもっている。 <input type="checkbox"/> ⑬ 普段はおとなしい男子が、女子トイレに入ったり、スカートめくりなどをしている。 (させられている) <input type="checkbox"/> ⑭ 休み時間にはなかった衣服の汚れや破れ、擦り傷等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑮ 一人で、校舎内をフラフラと徘徊し、寂しそうに教室へ戻ってくる。 <input type="checkbox"/> ⑯ 遊びで使った道具等の後始末をいつもさせられている。
<p>【教師の手だて】</p> <p>“一人で 30 秒 35 人でたったの 17 分 30 秒”</p> <input type="checkbox"/> ① 休み時間になった時、児童・生徒が遊び仲間を作って遊びに行く様子を観察する。 <input type="checkbox"/> ② 遊びに入れない児童・生徒をそのままにせず、誘い合って遊べるように働きかける。 <input type="checkbox"/> ③ 教師自ら、できるだけ児童・生徒と一緒に遊ぶことを心掛ける。 <input type="checkbox"/> ④ 児童・生徒との対話や声掛けなどを通して(チャンス相談)、悩みなどを把握し、援助・指導をする。 <input type="checkbox"/> ⑤ 「(これは)遊びです」という児童・生徒の言葉を鵜呑みにせず、状況を確認する。 <input type="checkbox"/> ⑥ 児童・生徒の表情などから、休み時間の満足度を把握する。 <input type="checkbox"/> ⑦ 授業終了の時刻と開始の時刻を守り、休み時間を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑧ 授業から職員室等へ戻るときは、いつも同じ経路でなく、いろいろな経路を通る。 死角になるところに教師の目が届くように。 <input type="checkbox"/> ⑨ 次時間が空き時間であるならば、教育相談の絶好の機会であることを認識し、教室や廊下で児童・生徒の会話を増やそう。	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨の日は落ち着いて生活しようね。 ・ 電気や戸締まりよろしくね。 ・ 挨拶がとても気持ちいいね。 ・ 次は移動教室だね、しっかり頑張って。 ・ 何か質問がある人は来てください。 ・ ありがとう。

場面	児童・生徒のサイン
給食時間	<input type="checkbox"/> ① 敬遠しがちなメニューの品を特定の児童・生徒だけ山盛りにする。または、その逆。 <input type="checkbox"/> ② 特定の児童・生徒への配膳忘れ(意図的)がよくある。 <input type="checkbox"/> ③ 特定の児童・生徒が配膳しようとする周囲の生徒が受け取ろうとしない。 <input type="checkbox"/> ④ 児童・生徒に好まれるメニューを、もらわれてしまうことが多い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 配膳の為に列をつくる時、特定の児童・生徒の後ろに並びたがらない。 <input type="checkbox"/> ⑥ 腹痛や吐き気を訴えることが多く、給食を残したり食欲がないことが見られる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 班で机を寄せて会食する時、いつも特定の児童・生徒の机だけ離されている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 班での会話に、特定の児童・生徒だけ入れてもらえず無視されている。または、会話に入りたがらない。 <input type="checkbox"/> ⑨ 話題が特定の児童・生徒の悪口や失敗ごとが中心となっており、おもしろそうに話されている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 特定の児童・生徒が、一人で食器の片付けや、牛乳パックの処理をさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 食器の片付けや返却、運搬の際当番以外でも行っている(させられている)。
<p>【教師の手だて】</p> <p style="text-align: center;">“何事も食事に現れる”</p> <input type="checkbox"/> ① 給食当番が配膳等の役割分担を決める方法を確認する。 <input type="checkbox"/> ② 児童・生徒と一緒に、生徒の配膳を誉めながら配膳を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 全員の配膳、着席が確認できてから「いただきます」をさせる。 <input type="checkbox"/> ④ 意図的、計画的に班の中に入り食事をする。 <input type="checkbox"/> ⑤ 班での会食は、一人一人の児童・生徒理解に努めるとともに、児童・生徒の相互理解が図れるよう楽しく食事をする。 <input type="checkbox"/> ⑥ 偏食や食事量の偏り等について、改善されるよう自己努力を促すとともに、継続的に援助・指導していく。 <input type="checkbox"/> ⑦ 児童・生徒の給食時の変化に気づくため、日頃から、好き嫌いや食べ方等について観察し、その様子を把握しておく。 <input type="checkbox"/> ⑧ 片付けは児童・生徒に任せないで、当番が教室から出るまで教室で見届ける。 <input type="checkbox"/> ⑨ 片付け終了後、全員が席に座ったことを確認してから「ごちそうさま」をさせる。	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の配膳は早くてがんばったね。明日もよろしくね。 ・ 好き嫌いは少なくした方がいいなあ。 ・ 今日は時間にゆとりを持って食べられたね。当番に感謝しよう。 ・ 両手を出して食べよう。

場面	児童・生徒のサイン
清掃時間	<input type="checkbox"/> ① 特定の児童・生徒と同じ清掃場所になろうとしない。 <input type="checkbox"/> ② いつもみんながいやがる仕事や場所が割り当てられる。 <input type="checkbox"/> ③ 特定の児童・生徒の雑巾や清掃用具がよくなってたり、ごみ箱に捨ててあったりする。 <input type="checkbox"/> ④ 特定の児童・生徒だけが清掃用具を持たないでいたり、古い用具を使わせられたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 一人だけ離れた場所で清掃している。 <input type="checkbox"/> ⑥ 教室の机や椅子を運搬するとき、いつも特定の児童・生徒のものだけ取り残されている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 特定の児童・生徒だけ清掃をさせられており、他の児童・生徒はそれを見てからかったりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 特定の児童・生徒が床を拭いたり、掃いたりしようとすると、その前がふさがれたり、股の下を通らされたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑨ 清掃後、必要以上に衣服がひどく汚れていたり、ぬれたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 他の児童・生徒は清掃が終わっているのに、一人だけ続けていたり、後かたづけをしたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑪ いつも、次の授業に遅れてくる。
<p>【教師の手だて】</p> <p style="text-align: center;">“清掃は人の心を磨くまで”</p> <input type="checkbox"/> ① 児童・生徒が行っている清掃当番箇所や用具の分担の様子を把握する。 <input type="checkbox"/> ② 仕事は全員で分担し、協力して仲良く行われるよう、その都度援助・指導を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 児童・生徒と一緒に清掃する機会を持つ。 <input type="checkbox"/> ④ 担当の清掃箇所を必ず1回は巡回するようにする。 <input type="checkbox"/> ⑤ 清掃をしないで遊んでいる児童・生徒を指導するとともに、一生懸命やっている児童・生徒に対して「よくやっているね」等の声掛けをする。 <input type="checkbox"/> ⑥ 清掃用具の後始末まで見届け、最後まで頑張った児童・生徒にはねぎらいの声掛けをする。 <input type="checkbox"/> ⑦ 反省会では、全員が集合しあいさつをして終わりにする。その際に担当の教師がサインをするとともに、活動について振り返らせる機会とする。 <input type="checkbox"/> ⑧ 児童・教師が出張等で不在の時は、回りの教師が声を掛けながら進める <input type="checkbox"/> ⑨ 清掃用具の点検を委員とともにしておく	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ きれいになったね。 ・ はやくできたね。 ・ ごくろうさま。 ・ 協力してできたね。 ・ 机を引きずらないようにしよう。 ・ 黒板がとってもきれいだね。 ・ だんだん上手になったね。

場面	児童・生徒のサイン	
帰りの会から下校時	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 帰りの会での配布物が、特定の児童・生徒だけに渡らない。 <input type="checkbox"/> ② 帰りの会で、いつも特定の児童・生徒が追究されるなどしている。 <input type="checkbox"/> ③ 何か起こると、いつも特定の児童・生徒のせいにされる。 <input type="checkbox"/> ④ 下校の時間が近くになると、不安そうな表情が見え、落ち着かない。 <input type="checkbox"/> ⑤ 帰りの会が終わっても、用事がないのに教室に残っている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 帰りの会后、用事がないのに教師や職員室のまわりをうろうろしている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 朝や昼には見られなかった衣服の汚れやすり傷等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 特に理由はないのに、いつも一人で急いで下校する。 <input type="checkbox"/> ⑨ 教師の目の届きにくい場所に友達が(待ち伏せて)いて、一緒に帰る。 <input type="checkbox"/> ⑩ いつも友だちの荷物を持たされている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 自転車で下校するとき、自転車にいたずらをされたり、自転車を取られて、歩いて(走って)帰ったりしている。 <input type="checkbox"/> ⑫ 帰るときになって、特定の児童・生徒の靴や持ち物等がなくなっており、探してもなかなか見つからない。 	
<p>【教師の手だて】</p> <p style="text-align: center;">“さようなら またあした”</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 帰りの会の運営については適時、援助・指導する。 <input type="checkbox"/> ② チェックシート等を活用し、今日一日の生活を振り返らせ、自己を見つめさせる。 <input type="checkbox"/> ③ 帰りの会を連絡だけで終わりにせず、相互の心の交流を図る場として充実させる。 <input type="checkbox"/> ④ よかったこと、嬉しかったことなどを認め合い、賞賛し合う時間を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑤ 教師から見た、よかったことや反省すべきことなどを話し、明日への意欲付けを行う。 <input type="checkbox"/> ⑥ お互いが気持ちよく『さようなら』ができるように工夫する。 <input type="checkbox"/> ⑦ 『さようなら』の時、児童・生徒の表情を観察し、普段と変わらないかどうかを確認する。 <input type="checkbox"/> ⑧ 友だちと一緒に複数で帰るように促す。 <input type="checkbox"/> ⑨ 問題を抱えた児童・生徒に対しての個別相談を行う。 <input type="checkbox"/> ⑩ 全員の児童・生徒が教室を出るのを確認しながら、児童・生徒の机の落書きなどを気にしながら環境の整備を行う。 <input type="checkbox"/> ⑪ 朝の様子と変わっていないか、学級全体と個人を見つめる。 		
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者の手順がいいね。 ・ ○○係の人○○をお願いします。 ・ 聞く姿勢が立派になったね ・ 発表者の声が大きくて素晴らしいね。 ・ 今日も頑張ったね ・ 笑顔で終わられて、今日もよい一日だったね。 ・ 挨拶がとても気持ちいいね。 ・ 明日はもっとがんばろう。 ・ さようなら。 	

場面	児童・生徒のサイン
その他・全体	<input type="checkbox"/> ① 衣服の汚れや破れ、ボタンが取れているなど服装に異常が見られる。 <input type="checkbox"/> ② 理由のはっきりしない傷やあざ、鼻血、怪我等が見られる。また、それを隠そうとしている。 <input type="checkbox"/> ③ 文具類や履物等の持ち物が隠されたり、壊されたりする。 <input type="checkbox"/> ④ 不自然な言動が見られ、表情が暗く、周囲を気にしている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 普段明るい児童・生徒が、急に元気がなくなり、ふさぎ込んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 頭痛や腹痛、吐き気などをよく訴えるようになる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 一人で行動することが多くなり、集団行動を敬遠するようになる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 活気がなくなり、おどおどすることが多くなる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 生活ノートや心のノートなどの記述に不安や悩みを示すようになる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 他の児童・生徒の遣い走りさせられるなど、他の言いなりになっている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 嫌なあだ名で呼ばれたり、「クラスの恥」などといわれ、除け者にされたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑫ 特定の児童・生徒の机や椅子、持ち物などに触れようとしなくなる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 席替えの時、いつも特定の児童・生徒の近くに座るのを嫌がる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 班長や係、学級代表等の選出がまじめに行われず、押しつけで選ばれる。 <input type="checkbox"/> ⑮ グループ作りなどを行う際、なかなか特定の児童・生徒の所属が決まらない。 <input type="checkbox"/> ⑯ 文字や作品等が乱雑になってくる。 <input type="checkbox"/> ⑰ 掲示作品や黒板、壁等に中傷の言葉や悪質な落書きが見られる。

【教師の手だて】

“やって見せ 言って聞かせて

させてみて 誉めてやらねば人は動かじ”

- ① 「愛の鞭」などと称して体罰は絶対に行わない。
- ② 「だめなものはだめ」という毅然とした態度を示しながらも、何でも頭ごなしに叱らない。かげで、短く、比較しないで叱る。
- ③ 感情に任せて、児童・生徒の心を傷つける言葉を発しない。
- ④ 特定の児童・生徒ばかりを叱ったり誉めたりしない。
- ⑤ 「〇〇さん」「〇〇くん」といった温かい呼称で呼ぶ。または、快い愛称で呼ぶ。
- ⑥ 児童・生徒の言動や表情に気づくよう、普段から一人一人をよく見る。
- ⑦ 児童会・生徒会活動や学級活動、部活動等を自治的な活動といって、すべてを任せない。
- ⑧ 児童・生徒の信頼関係づくりに力を入れる。
- ⑨ 児童・生徒と触れ合う時間を意図的に増やすように努める。
- ⑩ 生活ノートや学級日誌、レポート、作品等にあたためたコメントを添える。
- ⑪ 一面的な物差しで生徒を評価せず、多面的にとらえ、それぞれのよさを認め、伸ばすようにする。

場面	生徒のサイン
部活動の時間	<input type="checkbox"/> ① 一人で準備や後かたづけをさせられている。 <input type="checkbox"/> ② 中学校では、部活動に遅れて参加したり、欠席したりすることが続く。 <input type="checkbox"/> ③ 頭痛、腹痛、吐き気などをよく訴える。 <input type="checkbox"/> ④ 特定の生徒だけに苦しい練習が課せられ、失敗すると笑い者にされる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 練習中や休憩中、一人でいることが多い。 <input type="checkbox"/> ⑥ 練習中、特定の生徒にだけ、パスやボールが回らないなど疎外される。 <input type="checkbox"/> ⑦ 特定の生徒が使った用具に他の生徒が触れようとしない。 <input type="checkbox"/> ⑧ 二人組やグループを作って練習するとき、いつも特定の生徒だけが取り残される。 <input type="checkbox"/> ⑨ 特定の生徒だけが、手足のように使われる。 <input type="checkbox"/> ⑩ チーム分けの時など、特定の生徒と同じチームになろうとしない。 <input type="checkbox"/> ⑪ 必要以上に衣服や持ち物が汚れていたり、ボタンが取れていたりするなど異常な部分が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 個人の用具や持ち物が隠されていて、なかなか見つからない。 <input type="checkbox"/> ⑬ 理由がはっきりしない傷やあざ、鼻血、怪我等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 欠席が多くなり、理由もはっきりしない。 <input type="checkbox"/> ⑮ 理由も言わずに、部活動をやめたいと言いだす。
<p>【教師の手だて】</p> <p>“勝つことだけを目指としない”</p> <input type="checkbox"/> ① できる限り早く活動場所に行く。また、忙しくても必ず1日1回は顔を出せるように心掛ける。 <input type="checkbox"/> ② 生徒が部活動へ向かう時や開始の時、表情を見ながら、激励の声掛けを行う。 <input type="checkbox"/> ③ 部活動以外での生徒の活躍のようすも普段から情報として入れるようにして、激励する。 <input type="checkbox"/> ④ 部活動を通して、技能の向上だけでなく、好ましい人間関係の在り方についての援助・指導を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 異年齢集団のなかで、好ましい対人関係を学ばせるよい機会とする。 <input type="checkbox"/> ⑥ 一人一人の生徒の能力や特性等を的確に把握しながら、すべての生徒が参加意欲を持ち、個性が伸長されるような援助・指導を行う。 <input type="checkbox"/> ⑦ 活動の最後にまとめの話をし、次の活動の意欲につながるようにする。 <input type="checkbox"/> ⑧ 後始末のようすまで見届ける。 <input type="checkbox"/> ⑨ 学級担任との連携を密にし、適切な援助・指導に努める。 <input type="checkbox"/> ⑩ 出席簿をしっかりとつけさせ、欠席・早退・遅刻の状況を把握するとともに、心配な生徒に対しては状況を家庭に伝え、協力をもとめる。	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張っているね。 ・ 任せたぞ！ ・ 先生が誉めていたよ。 ・ 技術が向上したよ。 ・ ナイスプレー、ナイスライ。 ・ 一生懸命に活動していたね。

「いじめ緊急対策」

◎いじめは人間として絶対に許されない ◎何があっても絶対に死んではいけない

※「いじめ」にあたるか否かの判断は、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うもの

【いじめ防止対策推進法 総則 いじめの定義(H25.6)】

- ① 一定の人的関係にある者から、
- ② 心理的・物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)を受け、
- ③ 心身の苦痛を感じているもの。

☆常に「事あれば、先生方はすぐ動いてくれる」という安心感を！

